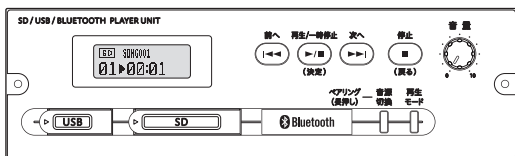


UNI-PEX

SD/USB/Bluetooth® プレーヤーユニット

取扱説明書 (保証書付)

SDU-B202



Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、日本電音株式会社はこれらの商標を使用する許可を受けています。

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は、SDカード/USBメモリーに収録されたMP3形式の音源ファイル及びBluetoothで接続した機器の音源ファイルを再生するためのプレーヤーです。使用するメディアは、SD/SDHCカード(別売)およびUSBメモリー(別売)です。用途に適した容量のものを、別途ご用意ください。

目次

安全上のご注意	1~4	SD/USB音源を再生する	12~14
〇 免責事項について	3	メディアを取り外す	15
〇 本機を長期間お使いの場合	3	リピート・ランダム再生をする	16
〇 取扱上のお願ひ/電波について	4	Bluetooth®音源を再生する	17, 18
特長	5	自動再接続機能を使用する	19, 20
接続するBluetooth®機器について	6	音声が届いた時は	21
使用するメディアを準備する	7~9	著作権法について	21
〇 メディアの準備について	7	組込方法	22, 23
〇 誤消去防止スイッチについて	7	エラーメッセージの説明	24
〇 ご使用可能なメディアについて	7	故障と思う前に	25, 26
〇 音源ファイルの準備について	8, 9	定格	27
〇 メディア内のファイルのバックアップについて	9	外観寸法図	27
各部の名称と説明	10, 11	サポートのご案内/保証書	28
音量を調節する	12		

安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

安全上のご注意 必ずお守りください



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



組込機器の
電源プラグを
コンセントから
抜く

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



SDカード/USBメモリーは、乳幼児の手の届かぬところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたす恐れがあります。



医用電気機器に近づけない

（手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない）
本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。*CCUとは、冠動脈疾患監視病室の略称です。



自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。
ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。
ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



SDカード/USBメモリー挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。



1年に1回程度は内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ①お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクタが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- ④操作をしてもペアリングしない、音が出てこない、その他の異常・故障がある。

安全上のご注意

必ずお守りください

取り扱い上のお願ひ

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器1台1台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造の禁止


本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

電波について

この機器の使用周波数では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されていないことを確認してください。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社お客様ご相談センターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様ご相談センターへお問い合わせください。

2.4FH1

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示す。
1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
 : 2,400MHz~2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

特 長

- 本機は、SD/SDHCカードおよびUSBメモリーを用いたMP3音源の再生に加え、スマートフォンやタブレットの音源再生に便利なBluetooth機能を内蔵したプレーヤーユニットです。
- ※再生専用機となります。
- 録音機能が必要な場合は、SD/USBレコーダーユニットSDU-201をご検討ください。

1) 大容量メモリー、複数メディアに対応

- 32GBまでの大容量メモリーに対応。
- 再生可能メディアは、SD/SDHCカードとUSBメモリーに対応。

2) Bluetooth機能を内蔵

- SD/USBの再生に加え、スマートフォンやタブレットの音源再生に便利なBluetooth機能を内蔵しました。
- ※PINコード（パスワード）は不要です。
- ※HSP（ヘッドセットプロファイル）、HFP（ハンズフリープロファイル）には対応していません。

3) わかりやすい液晶表示

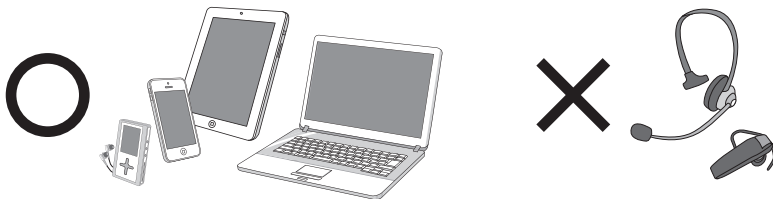
- ディスプレイ表示は、グラフィック液晶を採用。曲名・ファイル名等は漢字表示が可能です。

4) 豊富な再生モード

- SD/USBの再生モードは、「全曲再生」「全曲リピート」「1曲リピート」「リレー再生（1曲再生した後、次曲の頭で一時停止）」「ランダム再生」から選択可能。

接続するBluetooth[®]機器について

- 接続できる機器には、Bluetooth機能搭載のスマートフォン、音楽再生プレーヤー等の携帯機器、タブレットを含めたPCがあります。
- ※ヘッドセットマイク、ハンズフリーマイク等はご使用になれません。



- ※本機は、HSP（ヘッドセットプロファイル）、HFP（ハンズフリープロファイル）に対応していないため、ヘッドセットマイクや、ハンズフリーマイクとの接続ができません。
- ※Bluetooth機器に携帯電話やタブレットをお使いの場合は、通話機能をOFF(電波OFFモード等)にしてください(着信してしまいますと、音声出力が消音されます)。
- ※SDU-B202と接続するには、お使いのBluetooth機器が対応プロファイル(A2DP)に対応している必要があります。お使いのBluetooth機器が対応しているBluetoothプロファイルについては機器の取扱説明書などをご確認ください。
- ※お使いのBluetooth機器を組込機器の近傍に置くとスピーカーからノイズが発生する場合があります。その場合は、お使いのBluetooth機器を組込機器から少しだけ離してお使いください(本機による影響ではありませんが、Bluetooth機器には組込機器に影響を及ぼす周波数の電波を出しているものがあります)。

使用するメディアを準備する

メディアの準備について

- 本機のご使用にあたってはSDカード/USBメモリーを別途ご用意してください。用意するにあたっては下記の点にご注意ください。

□SDカードの準備について

- ・SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ（右記参照）が明示されたものを使用してください。
- ・容量32GBまでのSD/SDHCカードに対応しています。
- ・miniSD/SDHCカードやmicroSD/SDHCカードは使用しないでください。アダプターの仕様により動作しないものがあります。
- ・SDXC (SD Extended Capacity) 規格のSDカードには対応していません。

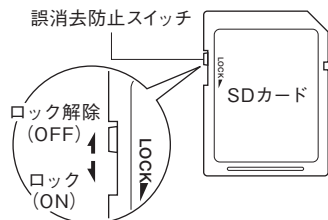


SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

□USBメモリーの準備について

- ・USBマストレージクラス準拠USBメモリーを使用してください。容量32GBまでのUSBメモリーに対応しています。

誤消去防止スイッチについて



- SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと、録音、消去などカードの内容を変更することができません。再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため、このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

ご使用可能なメディアについて

- 一部のSDカード、USBメモリーは、本機器ではご使用頂けない場合があります。その際は別のメディアを使用したり、新しいものに取り換えてお試しください。

使用するメディアを準備する

音源ファイルの準備について

SDカード/USBメモリーに収録する音源ファイルについては下記の点にご注意ください。

メディアのフォーマット(初期化)について

- ・SDカード/USBメモリーは、パソコン等を使用しフォーマットを行ってから、音源ファイルの転送を行ってください。
- ・SDカードをパソコン等でフォーマットをする場合、SDカードフォーマッター※を使用し、FAT形式でフォーマットしてください。

SDカードフォーマッター

検索

※SDカードフォーマッターは検索エンジンで検索してください。

- ・USBメモリーをパソコン等でフォーマットをする場合、パソコン等の画面に表示されるUSBメモリーのアイコンを右クリックしてフォーマットを選び、FAT形式でフォーマットしてください。
- ・市販のものをそのまま用いた場合、データが破損したり、正常に再生が行われない恐れがあります。

音源ファイルのファイル形式について

MP3		
規格	MPEG-1 Audio Layer-3	
拡張子	.mp3	
サンプリング周波数	32kHz、44.1kHz、48kHz	
ビットレート※1	32k、40k、48k、56k、64k、80k、96k、112k、128k、160k、192k、224k、256k、320kbps	
チャンネル	モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ	
ファイルサイズ	2GB以内	
ファイル名・フォルダー名の最大文字数	ファイル名：半角英数字 32文字 (全角16文字) フォルダー名：半角英数字 16文字 (全角8文字)	
ファイル・フォルダーの最大数※2	ファイル数：999 フォルダー数：999	
フォルダー階層の最大数	3階層	
タグ	規格	ID3 タグ Ver.2.2、2.3、2.4※3
	表示する情報	タイトル
	表示最大文字数	半角英数字 32文字 (全角16文字)

※1 上記対応ビットレートの範囲でVBR対応。ただし、可変ビットレート再生時には時間がずれることがあります。

※2 認識可能なファイル数を超過すると正常に動作できない場合があります。

※3 ID3タグとは、MP3ファイルに音源タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、タグに対応した機器等で情報を表示させることができます。本機でも、タグ情報のうち、タイトルを表示させることができます。ID3タグ Ver.2.4に関しては、文字コードUTF-8は非対応です。

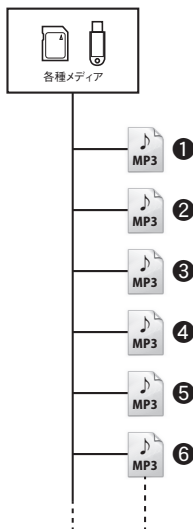
※上記の条件に合致したもので、SDカード/USBメモリーの特性、記録状態などにより、本機では使用できないことがあります。

□音源ファイルの再生順について

●メディア内にフォルダーがない場合

ファイル名順ではなく、メディアに転送された順番に再生されます。再生する順番で、1曲ずつ転送してください。

例) ※上から転送順です。①=再生順

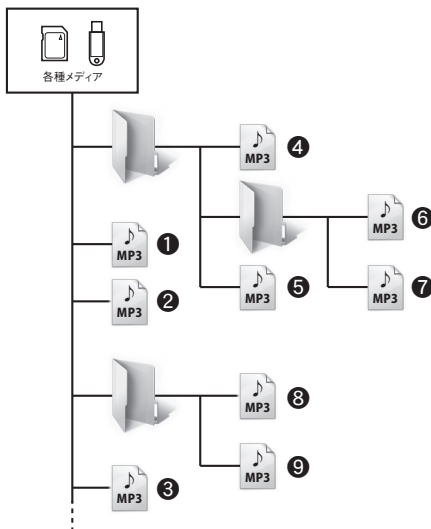


●メディア内にフォルダーがある場合

- ①メディア直下に転送された音源ファイル
↓
②メディア直下に作成されたフォルダーに転送された音源ファイル
↓
③“②”のフォルダー内に作成されたフォルダーにコピーされた音源ファイル

※フォルダー内での再生順は音源ファイル名ではなく、転送された順になります。

例) ※上から転送順です。①=再生順



※フォルダーは最大3階層まで対応しています。

※音源ファイルのファイル名やファイル形式(MP3)は再生順に関係ありません。

※メディアにファイルを転送した後にそのファイルのプロパティ及びファイル名を編集すると、再生順序が変更になる場合がありますので、転送前に編集してください。

メディア内のファイルのバックアップについて

- ・メディアに収録した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な音源ファイルはパソコンにバックアップし、また収録内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明

再生/一時停止ボタン

メディアの再生を始めるときに押します。再生を一時停止（ポーズ）する、一時停止（ポーズ）から再生を再開するときはこのボタンを押します。また、状態を決定（登録）するときもこのボタンを押します。13頁の説明をご覧ください。

スキップ/サーチボタン（前へ）

曲（トラック）の戻り選択をするときに押します。再生中、このボタンを2秒以上押し続けると曲を早戻しします。14頁の説明をご覧ください。

スキップ/サーチボタン（次へ）

曲（トラック）の送り選択をするときに押します。再生中、このボタンを2秒以上押し続けると、曲を早送りします。14頁の説明をご覧ください。

停止ボタン

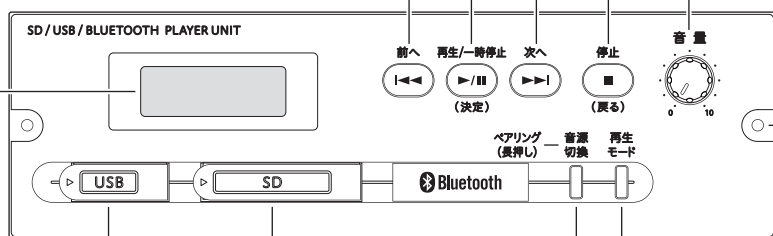
再生を停止するときに押します。また、各操作を途中で戻る（キャンセルする）ときも、このボタンを押してください。13頁の説明をご覧ください。

音量調節つまみ

再生音量を調節するときに使用します。12頁の説明をご覧ください。

取付穴

22頁の組込方法の説明をご覧ください。



ディスプレイ

操作または動作状態を表示します。11頁の説明をご覧ください。

USBメモリー挿入口

ダストカバーを外しUSBメモリーを挿入してください。12頁の説明をご覧ください。

SDカード挿入口

ダストカバーを外しSDカードを挿入してください。12頁の説明をご覧ください。

再生モードボタン

リピート・ランダム再生の選択をするときに押します。16頁の説明をご覧ください。

【長押し】Bluetooth自動再接続設定

長押しでBluetooth自動再接続の設定を行います。19頁の説明をご覧ください。

音源切換ボタン

再生する音源を切り換えるときに押します。13頁の説明をご覧ください。

【長押し】ペアリング

Bluetooth音源を選択時、長押しでペアリングします。すでにBluetoothで自動接続している機器がある場合は、接続が解除されます。17～18頁の説明をご覧ください。

(ディスプレイ部の名称と説明)

● 選択している音源や再生状態によって表示内容が異なります。

下記は代表的な表示の説明です。詳しくは12頁からの操作方法をご覧ください。

ディスプレイのバックライトは、停止状態、メディア未挿入状態が3分継続すると消灯します。

音源表示

選択中の音源を表示します。

USB USB

SD SD

BLT Bluetooth
未接続

BLT Bluetooth
接続済

ファイル名表示

再生中の音源ファイルのファイル名とタグ情報をスクロール表示します。

USB SONG001
01 ■ 00:01 ◀▶

トラック番号表示

再生中の曲(トラック)を表示します。
※SD/USB使用時の機能です。

状態表示

本機の状態を表示します。

■ 停止

▶ 再生

|| 一時停止

▶▶ 早送り

◀◀ 早戻し

再生モード表示

様々な再生モードを表示します。
※SD/USB使用時の機能です。

空欄 全曲再生(9頁の再生順)

◀▶ 全曲リピート

◀▶ 1曲リピート

▶▶ リレー再生

◀▶ ランダム再生

再生時間表示(分:秒)

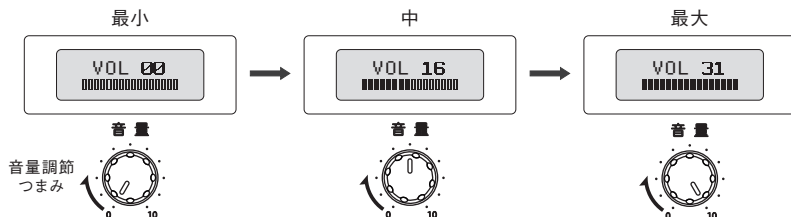
再生中の曲の経過時間の目安を表示します。

ご注意

● 本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

音量を調節する

- 音量を上げるときは音量調節つまみを右方向に、音量を下げるときは左方向に回します。
- 音量は0～31の数値と16段階のバーメーターで表示します。



SD/USB音源を再生する **SD/USB の操作説明**

- 次の手順で再生してください。

1. 音量を0にする

□ 本機及び、組込機器の音量を全て0にしてください。

注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。

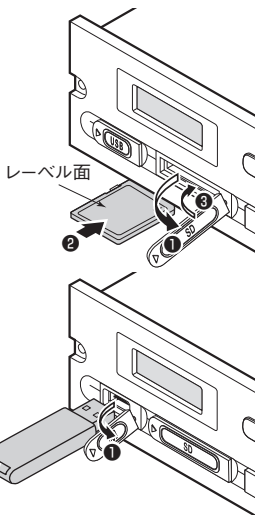
2. 電源を入れる

□ 組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、組込機器の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

※ 本機は、前回電源をOFFにした時のメディアの設定を記憶しています。

※ メディアが見つからない場合、【メディアなし】と表示し、メディアの挿入待ちとなります。

3. メディアを挿入する



■ SDカードの場合

- ① SDカード挿入口のダストカバーを外します。
- ② SDカードの向きに気をつけて、SDカード挿入口へ挿入してください。
- ③ ダストカバーを取り付けてください。

■ USBメモリーの場合

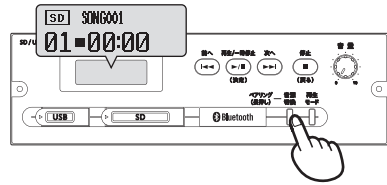
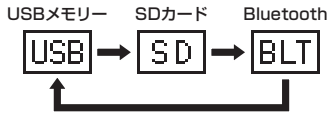
- ① USBメモリー挿入口のダストカバーを外します。
- ② USB端子の向きに気をつけて、USB挿入口へ挿入してください。

ご注意

- USBメモリーを対象とします。携帯音楽プレーヤーなど他のUSB機器は動作しません。充電も含めて、本機からの給電は行わないでください。機器の故障を招く場合があります。

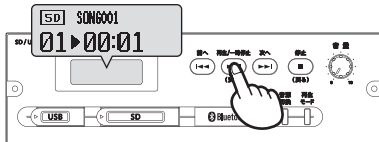
4.再生するメディアを選択する

- 音源切換ボタンを押して、メディアを選択してください。押す度にメディアが切り換わります。



5.再生/一時停止ボタンを押す

- 停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を開始します。



6.音量を調節する

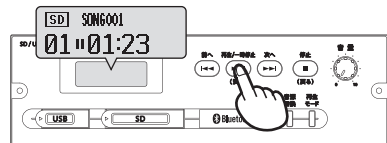
- 音量調節つまみをゆっくりと回し、適切な音量に調節してください。



再生を一時停止（ポーズ）するには

再生/一時停止ボタンを押す

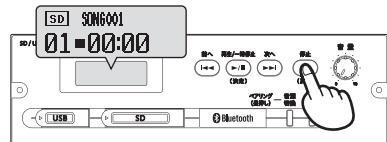
- 再生/一時停止ボタンを押した位置で、再生を一時停止します。
- 一時停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、その位置から再生を再開します。



再生を停止するには

停止ボタンを押す

- 再生/一時停止中に停止ボタンを押すと、停止状態になります。
- 停止中に再度停止ボタンを押すと、先頭の曲番に戻ります。



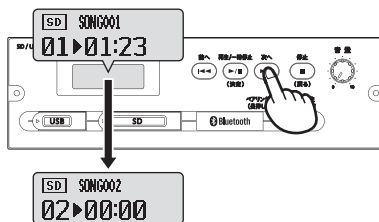
SD/USB音源を再生する **SD/USB の操作説明**

曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン[次へ]を押す

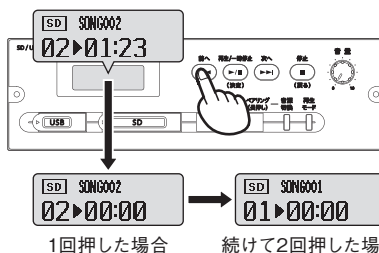
- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[次へ]を押すと次の曲の頭に移動し再生を開始します。
- 停止中に押すと、次の曲番号に表示が換わります。



●前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン[前へ]を押す

- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[前へ]を押すと再生中の曲の頭に戻り再生を開始します。
- 再生中・一時停止中に続けて2回押すと、前の曲の頭へ移動し、再生を開始します。
- 停止中に押すと、前の曲番号に表示が換わります。



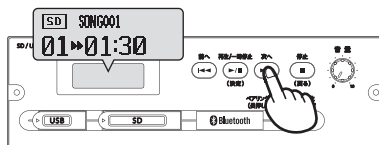
早送り/早戻しするには

※早送り/早戻しの際に音声は出力されません。

●曲を早送りするには

スキップ/サーチボタン[次へ]を押し続ける

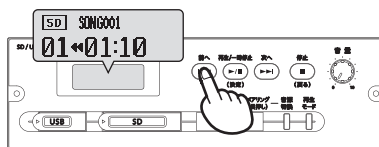
- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[次へ]を2秒以上押し続けると早送りします。
- スキップ/サーチボタン[次へ]を離すと、その位置から再生を開始します。



●曲を早戻しするには

スキップ/サーチボタン[前へ]を押し続ける

- 再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン[前へ]を2秒以上押し続けると早戻しします。
- スキップ/サーチボタン[前へ]を離すと、その位置から再生を開始します。

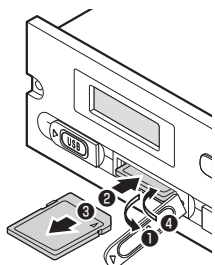


メディアを取り外す

SD/USB の操作説明

●次の手順で取り外してください。

再生を停止させてから取り外す

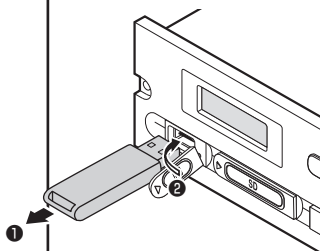


■SDカードの場合

- ①ダストカバーを外してください。
- ②SDカードを押し込み、ロックを外してください。
- ③SDカードをまっすぐ引き抜いてください。
- ④ダストカバーを取り付けてください。

ご注意

- 再生中にSDカードを取り外すとデータが破損する場合があります。



■USBメモリーの場合

- ①USBメモリーを引き抜いてください。
- ②ダストカバーを取り付けてください。

ご注意

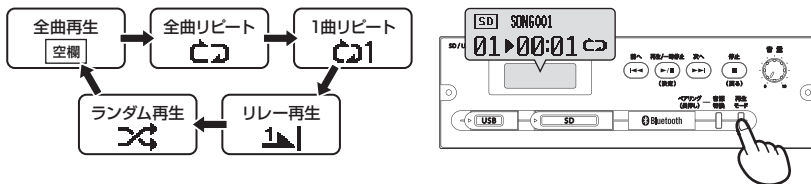
- 再生中にUSBメモリーを引き抜くとデータが破損する場合があります。

リピート・ランダム再生をする SD/USB の操作説明

●次の手順で再生してください。

再生モードボタンを押す

□再生モードボタンを押す度に、下図のようにリピート・ランダム再生が切り換わります。



リピート・ランダム	説明
全曲再生 空欄	メディア内の曲を全て再生した後、停止します。
全曲リピート ↺	メディア内の曲を全て再生し、一巡すれば先頭の曲へ戻り再生を継続します。
1曲リピート ↺1	再生中の曲を繰り返し再生します。
リレー再生 1 	1曲再生ごとに停止し、次の曲で待機します。
ランダム再生 ✂	メディア内の全ての曲をランダム再生します。※停止するまで繰り返します。

■電源起動後の状態について

●本機は、停止後・電源OFF後もリピート・ランダムの状態を前回の設定で記憶しています。



「リピート・ランダム」は
前回電源OFF時の設定

Bluetooth®音源を再生する Bluetooth の操作説明

●次の手順で再生してください。

1.音量を0にする

- 本機及び、組込機器の音量を全て0にしてください。

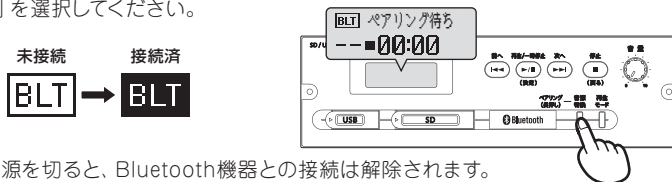
⚠ 注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。

2.電源を入れる

- 組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、組込機器の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

3. Bluetooth機器と接続する

- 音源切換ボタンを押し、左上アイコンを **[BLT]** にします。
「ペアリング待ち」表示になるので、
 - ・未ペアリングのBluetooth機器と接続する場合は、まずペアリングを行なってください。
 - ・ペアリング済みのBluetooth機器を接続する場合は、Bluetooth機器側で接続先に「SDU-B202」を選択してください。



- ※組込機器の電源を切ると、Bluetooth機器との接続は解除されます。
次回お使いの際は、再度接続してください。
- ※本機と同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

■スタンバイモードについて

- 「ペアリング待ち」表示後3分経過するとスタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。
この状態からペアリングをする場合は、「音源切換」ボタンを長押しして、ペアリングモードにしてください。
- スタンバイモード（「未接続」表示状態）でも、ペアリング済みの機器とは、接続可能です。

4. Bluetooth機器から操作する

- ペアリングが完了し接続されると、[BLT]アイコンが反転し、5秒間、接続機器名が表示されます。その後、Bluetooth機器の音楽プレーヤーアプリが起動していれば、選択中の曲のタイトルが表示されます。
- 曲のタイトル表示中に再生モードボタンを押すと、接続機器名表示と切り換わります。
※音楽プレーヤーアプリを起動していない場合は、空欄表示、もしくは「Not Provided」などの表示となります（機器やアプリによる）。
- Bluetooth機器側で、再生/停止などの操作を行うと、本機の再生表示アイコンも変わり、時間表示が動きます。また本機側で、再生、停止、曲送り、曲戻しが出来ます。
※停止を押すと、一時停止となります。
- ※制御や表示（時間、曲タイトル、アイコン）ができるかどうかについては、お使いのBluetooth機器のAVRCPのバージョンおよび使用している音楽プレーヤーアプリによります。
制御や、表示ができない場合でも、故障ではありません。

■Bluetoothで接続した機器の音源ファイル再生について

●AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	情報表示
A2DP	対応	非対応	非対応
A2DP+AVRCP Ver.1.0		一部対応	一部対応
A2DP+AVRCP Ver.1.3			
A2DP+AVRCP Ver.1.4			

※上記の表で「対応」になっていても、ご使用のBluetooth機器によっては、使用できない機能や制限事項があります。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示をするためのプロファイルです。

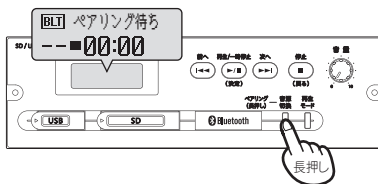
A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や、取扱説明書に記載された内容とは異なる動作をする場合があります。

接続を解除し別の機器と接続する

※接続を解除する方法は2つあります。状況に適した方法をお選びください。

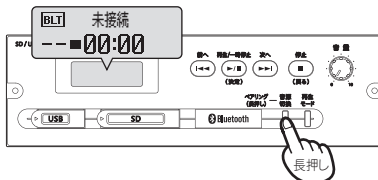
方法1: 音源切換ボタンを長押しする

- 音源切換ボタンを長押しすると、接続を解除し、「ペアリング待ち」表示に変わります。再度ペアリング作業を行うか、ペアリング済みのBluetooth機器と接続してください。



方法2: Bluetooth機器のBluetooth機能をOFFにする

- お使いのBluetooth機器と本機の接続を解除すると、スタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。
- ・ペアリング済みのBluetooth機器であれば、この状態で接続可能です。
 - ・未ペアリングのBluetooth機器と接続する場合は、音源切換ボタンを長押しして、再度ペアリング作業を行ってください。



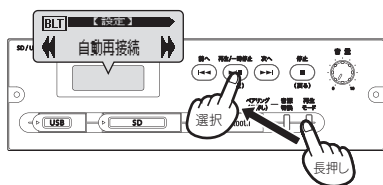
自動再接続機能を使用する Bluetooth の操作説明

- 本機の電源ONと同時に、一番最後に接続していたBluetooth機器と自動で再接続する機能です。
- 自動再接続機能を使用するには、ペアリング済みのBluetooth機器が必要です。

自動再接続機能を使用する

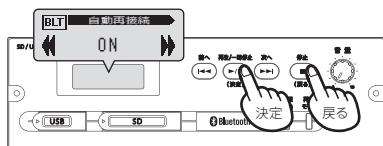
1. 設定メニューに入る

- 再生モードボタンを長押しして、設定メニューに入った後、再生ボタンを押すと、自動再接続設定メニューに入ります。停止ボタンを押すと、設定メニューから元の画面に戻ります。



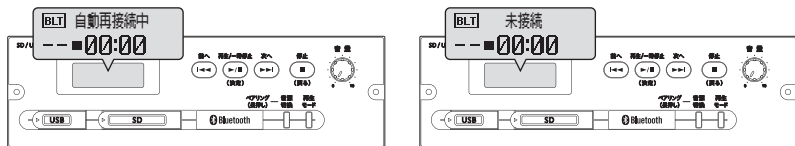
2. 自動再接続機能をONにする

- スキップ/サーチボタンを押し、自動再接続機能のON/OFFを切り換えてください。再生ボタンを押すと、設定が保存されます。停止ボタンを押して、元の画面に戻ってください。



3. Bluetooth機器と接続する

- 電源をONにして音源をBluetoothに切り換えると、「自動再接続中」表示となり、最後に接続していたBluetooth機器が通信範囲にある場合は、自動で再接続します。
※通信範囲にない場合、3分経つとスタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。



- 最後に接続していたBluetooth機器とは別の機器に自動接続したい場合は、一旦現在の接続を解除し、別の機器と接続した状態で電源を切ってください。

■接続状態の保持機能について

- Bluetooth機器を接続したままで音源をSD/USBに切り換えても、Bluetooth機器との接続は継続しています。

Bluetooth機器で音源を再生中の場合、音源をSD/USBからBluetoothに再度切り換えたタイミングでBluetooth機器の音が鳴ります。

急に音が鳴ると困る場合は、Bluetooth機器側で再生を一時停止しておくか音量を下げる、もしくは本機側で音量を0にするなどの対応をしてください。

■音源の選択状態保持機能について

- 本機は、電源を切る直前の音源選択を記憶しています。

電源ON時には、電源を切る直前に選択していた音源が自動で選択されます。

電源を切る直前にBluetooth音源を選択しており、かつ自動再接続がONの場合、Bluetooth機器で再生中の音源が急に鳴る場合がありますので、ご注意ください。

音声が届かなくなった時は Bluetooth の操作説明

- Bluetooth機器は無線機器であるため、お使いのBluetooth機器と本機が離れた場合、もしくは何かの障害物が間を隔てた場合に電波が届かなくなり、音声が出られなくなることがあります。その場合は、お使いのBluetooth機器を近づけていただくか、間を隔てている物を移動させてください。

※お使いのBluetooth機器を近づけていただく、もしくは間を隔てている物を移動させていただくと、音声出力は復帰しますが、Bluetooth機器によっては、電波が届かなくなった時点で音声出力を一時停止するものがあります。

本機ディスプレイの音源表示が「Bluetooth接続済」になっているのに音声を出力しない場合は、お使いのBluetooth機器をご確認ください。

ご注意

- Bluetoothは2.4GHzという周波数帯の無線を使用しています。電子レンジや無線LANなどが同じ周波数帯を使用しているため、混信等が発生し、電波が届かなくなったり、ノイズが発生したりすることがあります。電子レンジや無線LANなどの機器から、10m以上離してお使いください。

著作権法について

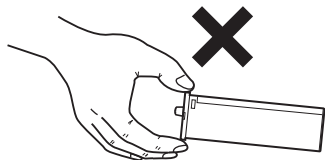
- 放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

組込方法

⚠ 警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

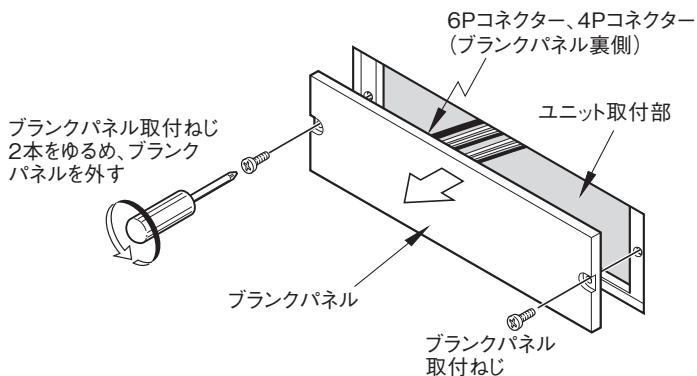
本機を持つときは、前面パネル部だけを
持たないでください。
前面パネル部が外れ、故障の原因になる
ことがあります。



1. ブランクパネルを外す

組込機器のユニット取付部のブランクパネルを外し、ブランクパネルの裏側に差し込まれている6Pコネクタと4Pコネクタを外してください(図1参照)。

図1

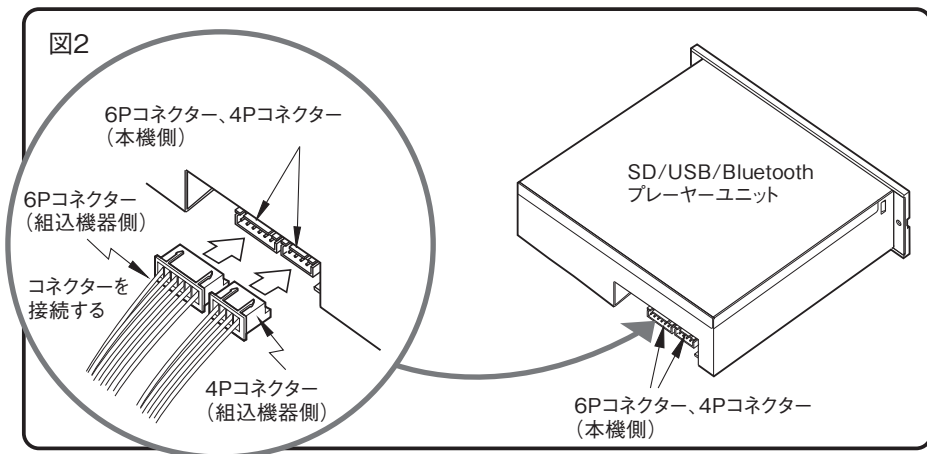


注意... ブランクパネルから各コネクタを外す際には、必ずパネル側のロックのツメを外してから取り外してください。

2.コネクタを本機に接続する

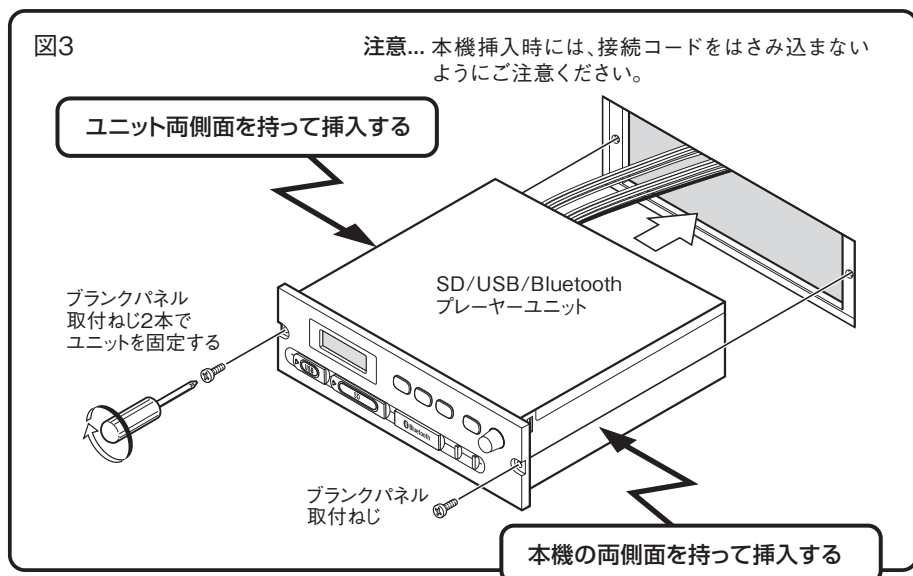
外した6Pコネクタと4Pコネクタを本機後面の各コネクタにしっかりと接続してください(図2参照)。

※組込機器に4Pコネクタが無い場合は、6Pコネクタだけ接続してください。



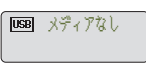




3.本機を組み込む

本機を組込機器のユニット取付部に挿入し、ブラックパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください(図3参照)。



エラーメッセージの説明

●エラーメッセージが表示された場合は、下記を参照し、エラーの内容を確認してください。

表示部	対策 / 【表示内容】
	<p>【メディアなし】 内容…SDカード/USBメモリーの未挿入 SDカード/USBメモリーが挿入されていません。 SDカード/USBメモリーを挿入してください。</p>
	<p>【非対応USB】 内容…非対応USB機器の接続、USBメモリーの故障 本機で使用できないUSB機器が接続されているか、USBメモリーの故障です。電源を切り、USB機器を外してください。 7頁に記載のUSBメモリーをご使用ください。</p>
	<p>【NO DATA】 内容…SDカード/USBメモリーに音源ファイルなし SDカード/USBメモリーに音源ファイルが入っていません。データの転送をするか、他のSDカード/USBメモリーと交換してください。</p>
	<p>【ERROR/No.001】 内容…SDカード/USBメモリーの異常 このエラーNo.を表示している場合は、組込機器本体の電源スイッチを切り、再度電源を入れてエラーを解除してください。 それでもエラー表示が続く場合はSDカード/USBメモリーのデータが消滅しても問題のない事を確認し、パソコンなどでフォーマットしてください。 SDXCカードを挿入した場合も、このエラーNo.が表示されます。 SDカードの種類もご確認ください。</p>
	<p>【ERROR/No. [] [] []】 内容…本機のシステムエラー 「No.001」以外のエラーNo.を表示している場合は、組込機器本体の電源スイッチを切り、再度電源を入れてエラー表示を解除してください。 エラー表示が続く場合は販売店や工事店などにご連絡ください。 そのときはエラーNo.をお伝えください。</p>

故障と思う前に **SD/USB**

- ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目 / 【表示内容】	対 策
全く動作しない。 再生できない。	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	SDカード/USBメモリーが入っていますか。 【メディアなし】	SDカード/USBメモリーを挿入してください。
	SDカード/USBメモリーに転送したデータのファイル形式は正しいですか。 【NO DATA】	MP3形式の音源ファイルを使用してください。
	SDカード/USBメモリーのフォーマット形式は正しいですか。【ERROR/No.001】	24頁の説明をご覧ください。また、8頁の説明に従ってフォーマットしたSDカード/USBメモリーを使用してください。
	パスワードロック機能付のUSBメモリーを使用していませんか。【NO DATA】	パスワードロック機能が付いていないUSBメモリーを使用してください。
演奏時間は進んでいるが音声がでない。	音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカード/USBメモリーが入らない。	本機の中にSDカード/USBメモリーが入っていませんか。	SDカード/USBメモリーを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
	USBメモリーのUSB端子の向きを逆に入れていませんか。	USB端子の向きを確認し、向きを合わせて挿入してください。
曲名などが文字化けして表示される。	ID3タグのバージョンがID3v2.4になっていませんか。	ID3タグのバージョンをID3v2.3にして、曲名などを入れてください。
	もしくは、曲名などを入れる際、文字コードの設定が「UTF-8」になっていませんか。	また、曲名などを入れる際、文字コード設定は「UTF-16」で入力してください。

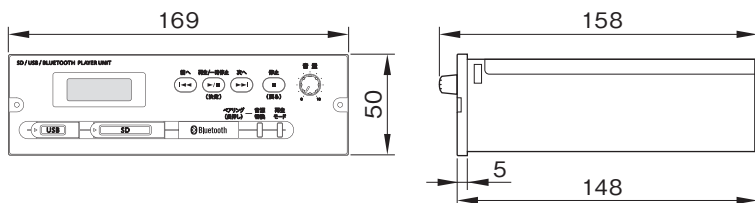
故障と思う前に Bluetooth

症 状	点 検 項 目	対 策
再生ボタンを押しても再生しない。 曲送り、曲戻しボタンを押しても、動作しない。 停止ボタンを押しても止まらない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器側で再生してください。 Bluetooth機器やアプリを変更してください。
早送り、早戻しが動かない。 状態表示アイコン表示が早送りに変わっても、早送りなどにならない。 状態表示アイコンが早送り・早戻しに変わらない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器側で早送り等を行ってください。 ※早送り、早戻しは、対応機種・アプリが少ない状況です。
曲のタイトル（ファイル名）が表示されない。 Bluetooth機器名表示が表示されない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。 曲のタイトル（ファイル名）またはBluetooth機器名に、本機対応文字以外（中国語等の文字等）をご使用ではありませんか。	Bluetooth機器またはアプリを変更してください。 曲のタイトル（ファイル名）またはBluetooth機器名を変更してください。
曲のタイトル（ファイル名）が急に表示されなくなった。	なし	Bluetooth機器を再起動してください。
音源を再生しても、音源は鳴動しているが、状態表示アイコンが■のまま、変化しない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器やアプリを変更してください。 状態表示アイコンは無視して、Bluetooth機器側で、動作させてください。
再生モード表示アイコンが出ない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器やアプリを変更してください。 ※再生モード表示は、対応機種・アプリが少ない状況です。
曲の切換時、状態表示アイコンが少しの間、一時停止になる。	なし	Bluetooth機器側で一時停止状態の情報が送信されているためです。故障ではありません。
停止ボタンを押しても、一時停止になる。	なし	本機の仕様となっております。
再生モードボタンを押しても、再生モードが切り換わらない。	なし	Bluetooth音源再生時は、Bluetooth機器側の再生モードで動作し、本機からは制御できません。再生モードボタンは、機器名表示/曲タイトル表示の切換ボタンとなっております。
再生モードアイコンが、Bluetooth機器側の状態と異なる。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。Bluetooth機器がWindowsPCではありませんか。	Bluetooth機器やアプリを変更してください。WindowsPCの場合は、再生モードにかかわらず、ランダム再生の表示情報を送信しているため、対処できません。本機ではなく、Bluetooth機器側の表示を確認してください。

定 格

電 源 電 圧	DC12V 組込機器本体より受電
消 費 電 流	400mA以下 (12V)
表 示	動作表示：液晶表示 バックライト：発光ダイオード 黄緑
適 合 S D カ ー ド	SDA準拠SD/SDHCカード (容量32GBまで) ※SDXC、SDUCは非対応
適 合 U S B メ モ リ ー	USBマストレージクラス準拠USBメモリー (容量32GBまで)
フ ァ イ ル シ ス テ ム	FAT16、FAT32
フ ァ イ ル 保 存 最 大 数	999 (メディアの容量およびファイルに依存)
フ ェ ル ダ ー 識 別 最 大 数	999 (ルートディレクトリを含む)
音 声 圧 縮 伸 長 方 式	MP3形式 (MPEG1 Audio Layer3)
再 生 ビ ッ ト レ ー ト	MP3形式 32kbps～320kbps
通 信 方 式	Bluetooth
出 力	Bluetooth Power Class 1 (10mW)
通 信 距 離	最大10m (使用環境によって異なります)
対 応 プ ロ フ ァ イ ル	A2DP、AVRCP
対 応 コ ー デ ッ ク	SBC
周 波 数 特 性	20Hz～20kHz
S / N 比	70dB以上
ダ イ ナ ミ ッ ク レ ン ジ	65dB以上
ひ ず み 率	0.2%以下
選 曲	前後1曲
定 格 出 力	音声出力：0dBV ±3dB 10kΩ
付 帯 機 能	リピート選択 (1曲リピート、全曲リピート、リレー、ランダム)、経過時間表示、一時停止、スキップ機能、早送り早戻し機能、自動バックライトオフ機能
使 用 温 度 範 囲	0℃～+40℃
外 装	パネル (ABS樹脂) 黒色半艶塗装、ケース (メッキ鋼板)
寸 法	幅 169mm 高さ 50mm 奥行 158mm
質 量	約 560g
付 属 品	取扱説明書 (保証書付) 1

外観寸法図 (単位:mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

- ①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況(できるだけ具体的にお願いします)

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードに
アクセスしてください。
<https://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245 (通話料無料)

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日除く)

携帯電話からのご利用は、

072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

SD/USB/Bluetooth® プレーヤーユニット SDU-B202

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話()
販売店	店名・住所 印 電話()

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

保証書

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。